

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日本銀行	日本銀行は日本の中央銀行であり、国内で流通する紙幣（日本銀行券）を独占的に発行する「発券銀行」としての役割を担っています。混同されやすい造幣局は、紙幣ではなく硬貨（貨幣）を製造する機関です。日本銀行は、通貨の供給量を調節することで物価の安定を図る重要な役割を果たしています。
問2	答え 3 現金を使わないためにお金を使った実感を持ちにくく、自身の収入を考えずに使いすぎてしまう恐れがあるから	クレジットカードは、購入時点では現金の支出を伴わないため、心理的に「お金を使った」という感覚が薄れやすい傾向にあります。そのため、自分の将来の収入や他の支出予定を十分に考慮せずに利用を重ねてしまうと、後日の支払い期日に資金が不足し、返済が困難になるリスクがあります。このような事態を避けるために、自身の経済状況を把握した計画的な利用が不可欠です。
問3	答え 4 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることで、通貨量を減少させる。	景気が過熱している時期には、日本銀行は保有する国債を一般の銀行に売却します。これにより、民間銀行が支払いに充てた資金が日本銀行へ回収されるため、世の中に出回る通貨量が減少し、過度なインフレや景気の過熱を抑える働きが生じます。対照的に、国債を買い取る操作は不況期に行われるものです。また、公共事業の増減や減税は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。
問4	答え 1 預金者に支払う利子と貸し付けで受け取る利子の差を利益とし、人件費や店舗の維持費などの経費をまかなうため。	銀行も一つの企業として営利を目的としており、従業員の給与やシステム管理、店舗運営のための費用が必要です。そのため、預金者に対しては低い利子を支払い、一方で資金を貸し付ける側からは高い利子を受け取るという仕組みによって、運営に必要な利益を確保しています。もし貸し付けの利子が預金の利子を下回れば、銀行は逆ざやの状態となり、経営を継続することが困難になります。
問5	答え 4 日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで、民間銀行が保有する資金が増え、企業への融資が行われやすくなる。	日本銀行が民間銀行との間で国債などを売買することを公開市場操作といいます。不景気の際には、日本銀行が国債を買い取る（買いオペレーション）ことで、その代金が民間銀行に支払われます。これにより民間銀行の資金に余裕が生まれ、企業や個人への貸し出しが促進されることで、経済全体の活動を活発にする効果が期待されます。
問6	答え 1 利子	資金の貸借において、元金に対して支払われる対価を利子（または利息）と呼びます。銀行にお金を預けることは、銀行にお金を貸している状態であるため、預金者は銀行から利子を受け取ります。反対に、企業が銀行から設備資金などを借りる場合は、企業が銀行に対して利子を支払います。これに対し、株式会社が利益の一部を株主に還元するものは「配当」と呼ばれます。
問7	答え 4 市中銀行が保有する国債を買い入れる	日本銀行が市中銀行から国債を買い入れることで、その代金として日本銀行から市中銀行へ通貨が支払われます。これにより市場に流通する通貨量が増加し、銀行が企業や個人へ融資を行いやすくなるため、景気を向上させる効果が期待されます。対照的に、国債を売る行為は「売りオペレーション」と呼ばれ、景気が過熱している際に行われます。
問8	答え 2 通貨の流通量を適切に調整し、物価や貨幣価値の安定を図るため	もし複数の機関が自由に紙幣を発行できると、市場に通貨が溢れて貨幣価値が下がるなど、経済が混乱する恐れがあります。日本銀行が独占的に発行・管理を行うことで、景気の状態に合わせて通貨の量を増やしたり減らしたりし、物価の安定を保つ仕組みになっています。
問9	答え 1 国の予算案を作成し、予算をどのように使うかの計画を決定する。	日本銀行は政府の資金の出し入れや管理を行いますが、国の予算案そのものを作成するのは政府（内閣）の仕事であり、その予算を審議・議決するのは国会の役割です。日本銀行はあくまで中央銀行としての立場から、通貨価値の安定や経済の健全な発展のために機能する機関であり、行政機関である内閣とは役割が明確に区別されています。
問10	答え 2 金融政策	日本銀行は中央銀行として、通貨の価値を安定させ、経済が健全に発展するように景気を調節する役割を担っています。この活動を「金融政策」といいます。具体的には、公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）などの手段を用いて、世の中の通貨量を調整します。これに対し、政府が税金や公共事業の予算を通じて景気を調整することは「財政政策」と呼ばれ、日本銀行の役割とは区別されます。
問11	答え 1 日本銀行券を発行する「発券銀行」、国庫金の管理などを行う「政府の銀行」、民間銀行に対し資金の貸出や預金の受け入れを行う「銀行の銀行」	日本銀行は、日本で唯一の紙幣発行権を持つ「発券銀行」です。また、国の税金の受け入れや国債に関する事務を行う「政府の銀行」としての役割、そして一般の個人ではなく民間銀行などの金融機関と取引を行う「銀行の銀行」としての役割を担っています。一般の市民が口座を作ったり、公務員の給与を直接支払ったりすることはありません。
問12	答え 4 預金者に支払う利子（預金利子）よりも、貸し出す際に受け取る利子（貸出利子）を高く設定する。	銀行は金融仲介機関として、預金者から預かったお金を企業などに貸し出します。この際、預金者に対して支払う「預金利子」というコストよりも、貸し出した相手から受け取る「貸出利子」という収益を大きく設定することで、その差額を銀行の利益としています。これを「利ざや」と呼びます。